

21世紀に ことばの橋を架ける “交流詩”

花の器

栗田 果奈穂

この世に

一輪の花が 開く

ということとは

この世に その人の

氣が 巡り 始めるということ

一輪の花の開花は

種を約束された いのち

けれども 人は 一人では

種に なれない

触れ合う いのちの営みに

出会えてこそ

結べる 種

種は その人の一生が

インプット される 器



ヤマユリ

交流詩誌“話仙花”二十四号

二〇〇一年八月二十七日 出版より

話仙花出版

ことば道場 花輪楽版

毎月 月末 発行

(発行支援者を募集しています。一年間 一五〇〇円)

※グループで“ことば道場”を体験したい方は、

連絡をいただければ、出張いたします。

個別対談 五〇分 三〇〇〇円

(表記の電話・FAXにて、場所・日時の予約をして下さい。)

栗田 果奈穂

ことば道場 ことば編集人

詩人カウンセラー提唱人

ネイチャーカウンセリング提唱人

巡回『時と写真展』 三十五回展 まで

ぽえむカード(詩と写真集) “観光とやま” “語らい”

私製はがき 8枚セット 五四〇円(税込み)

郵便振替 〇〇七七〇一六四四九七八 深山節代

※ “憲法違反”を“憲法違反”と、同定してもらえない不幸が、浸透してゆく恐ろしさ。自分たちが生かされているその世界に対する無知は、いずれ、平凡な日常を、破壊の方向に、導く。歴史は、そう語っている。

(穂)